

1 単元名 文学作品を批評しよう！ 教材名「百科事典少女」

2 単元の目標

- 文章を読み、人物描写や展開の工夫に目を向け、批評しようとする。（関心・意欲・態度）
- キーワードに着目し、登場人物どうしの関係の描き方や展開の仕方といった表現の工夫を読み取ることができる。（読むこと）
- 表現の工夫や文章の魅力について、作品を批評することができる。（読むこと）
- 言葉の意味を正しく理解して、批評する言葉を文章に用いることができる。

（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

3 単元について

(1) 生徒観

第2学年学習教材「字のない葉書」、「卒業ホームラン」では、登場人物の言葉や行動に着目して人物の心情を読み取り、作品を読み味わう学習活動を行った。自分が選んだ人物の言葉や行動に着目して、その意味を考えていくことで、作品全体を通して描かれている内容を理解する力を付けてきた。

「平成29年度県学力診断のためのテスト」の結果は、以下のようであった。

小問のねらい	本校正答率	県正答率	差
㊹文脈に即して内容を捉える力	*	58.0P	*
㊸考えの根拠となる叙述を捉える力	*	63.1P	*
㊷考えの根拠となる叙述を捉える力	*	52.5P	*

（平成30年1月11日 第2学年 *名実施）

文学的な文章に係る設問では、部分的な表現の特徴には気付いているが、様々な描写を通して登場人物の心情を読み取っていく力に課題が見られた。情景描写などの表現の工夫を捉えるとともに、人物描写、心情描写に着目して内容を捉える力を育成していくことが課題と言える。学年全体として、4領域中「読むこと」の正答率は*で県平均より*低かった。他領域は県正答率を上回っており、「読むこと」の領域が課題であると言える。

(2) 言語活動とその特徴

本単元では、言語活動として「文学作品を批評する」ことを位置付けた。批評とは、「あるものの特徴を捉えて、そのよさや価値について評価して論じること」である。人物描写や展開の工夫に気付き、作品のよさや特徴について考え、伝え合うことが文章を評価することにつながる。したがって、本単元でねらう「文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること」（C読むことウ）を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

(3) 教材観

本教材「百科事典少女」は、登場人物の心の交流が、キーワードに関わる様々なエピソードを通して描かれている。「百科事典」、「手提げ袋」といったキーワードに関するエピソードを読み解くことで、人物どうしのつながりや交流を感じることができる作品である。キーワードに着目しながら読み取ることで、ものを通してつながりを描く作品のよさや特徴を捉えることができる。これまで読んできた文学作品と比較しながら、本作品の表現の特徴やよさに気付き、批評する力を育成するのに適した教材と言える。

(4) 指導観

前教材「形」の学習では、古典作品と読み比べ、人物描写や展開の仕方について批評する学習を行った。羽織やかぶとが主人公の自尊心や慢心の象徴として描かれていることに気付き、キーワードに着目して読むことで作品の主題に迫ることが出来ることを学んだ。本教材では、「形」の学習をもとに、自分が選んだキーワードに着目しながら文章を読み、人物描写や展開の工夫に気付けるようにする。まずは、個人で読み取ったことを、同じキーワードを選んだ生徒どうし4

～5人の小グループで話し合い、内容の理解を深められるようにしたい。発表では、ホワイトボード2枚を使い、1枚に選んだキーワードとその言葉が象徴するもの、もう1枚にその根拠となる文章中の表現を書いて黒板に掲示する。次に、作品のよさや表現の特徴に気付き、批評する力を高めるために、自分が選んだ言葉以外の複数のキーワードが象徴しているものを交流し合う時間を十分に確保し、作品のよさを味わえるようにする。

本時は、それぞれのキーワードを通して、登場人物どうしのつながりや心の交流が描かれている作品のよさに気付き、次時は、それぞれのキーワードが象徴しているものを聞き合っって作品の理解を深められるようにする。また、第4時では、生徒が初読の感想で疑問に感じた、作品が『『ンゴマ 南アフリカの～用いられる。』』で終わることの意味や効果について話し合い、作品全体のよさを感じながら批評できるようにしたい。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・キーワードに着目しながら文章を読み、作品のよさに気付いて批評しようとしている。	・キーワードに着目し、登場人物どうしの関係や表現の工夫を読み取り、批評している。	・言葉の意味を正しく理解して、批評する言葉を使っている。

5 単元の指導計画（4時間扱い） ○は本時

次	時	主な学習活動	主な評価規準・(評価方法)
一	1	全文を読み、初読の感想をもつ。	[国語への関心・意欲・態度] ・批評する学習に関心をもち、文章を読もうとしている。 (学習計画表の記述内容、取組みの様子の観察)
二	2	大まかな内容を捉え、学習課題を設定する。 ・登場人物・文章構成・キーワード ③ キーワードに着目して文章を読み、グループで文章のよさについて伝え合う。 ・言葉が象徴しているもの ・根拠となる表現	[読む能力] ・登場人物や場面の展開を読み取っている。 (ワークシートの記述内容) [読む能力] ・人物の描き方や心の交流を捉え、作品のよさについて読み取っている。 (ワークシートの記述内容、話し合いの様子の観察)
三	4	全体で読み取ったことを交流し、作品を批評する。	[読む能力] ・様々なキーワードを通して登場人物どうしのつながりや交流が描かれている作品のよさに気付き、批評している。 (発表の様子の観察、批評文の記述内容) [言語についての知識・理解・技能] ・批評する言葉の意味を正しく捉え、批評している。 (批評文の記述内容)

6 本時の学習

(1) 目標

選んだキーワードに着目して文章を読み、キーワードが象徴しているものや根拠となる表現について読み取り、グループで伝え合うことを通して、作品のよさを捉えることができる。

(2) 準備・資料

教科書、学習計画表、ワークシート、ホワイトボード、マーカー

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>キーワードが象徴しているものを考え、作品のよさについて伝え合おう！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワード 「百科事典」, 「手提げ袋」, 「ひまわり模様の椅子」 「ホットレモネード」, 「アッピア街道」 「子犬のべべ」 ・批評：作品のよさや魅力について評価して語る こと。 <p>2 自分が選んだキーワードに関わる表現を見つけ、 作品のよさについて考える。</p> <p>(1) キーワードが出てくる表現にラインを引く。 (2) 登場人物の思いや人物どうしの関わりにつな がる表現を選ぶ。 (3) キーワードが象徴しているものを考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例)・百科事典：Rちゃんの知識欲の象徴 Rちゃんとお父さんをつなぐもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・椅子：Rちゃんと私が一緒に時間を過ごした象徴 お父さんがRちゃんと一緒にいるイメージ ・ホットレモネード：私と紳士おじさんの心の距 離を知る手段 ・アッピア街道：未知のことを知っていく道程 </div> <p>3 同じ課題を選んだグループで、話し合う。</p> <p>(1) それぞれが、人物どうしの関わりや象徴する ものにつながると考えた表現を伝え合う。 (2) キーワードが象徴するものとその根拠となる 表現について話し合う。 (3) 象徴するものと根拠となる表現をホワイトボ ードに記述し、発表の準備をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) キーワード：手提げ袋 象徴するもの： Rちゃんとお父さんをつなぐもの Rちゃんの知識欲の象徴 関わる表現：P45L8 「見覚えのあるあの手提げ袋」 P46L16 「どれもこれも～膨らんでいった」 P48L16 「Rちゃんのいる～揺れていた」 作品のよさ：手提げ袋に関わるエピソードを通して、R ちゃんのことを思う父親（紳士おじさん） の姿を描いている。</p> </div> <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表に本時の振り返りを記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>グループで話し合った内容を交流し、「百科 事典少女」を批評しよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを見ながら前時の学習内容を振り 返り、全体で出し合ったキーワードと、その中 から自分が選択したキーワードを確認し、本時 の学習内容が捉えられるようにする。 ・自分で読み取った後、同じ課題を選んだ小グル ープで話し合うことを確認し、学習の流れをイ メージして取り組めるようにする。 ・自力解決の時間を明示し、キーワードに関わる 表現に線を引き、その中から登場人物の思いや 人物どうしの関わりにつながる表現を選択して ワークシートに記述することを確認する。 ・課題への取り組みが進まない生徒には、選んだ キーワードが、それぞれの場面でどのように描 かれているか、描かれ方の変化に気を付けなが ら読んでいくよう助言し、全員が取り組めるよ うにする。 ・生徒の学習状況に応じて、キーワードが象徴す るものについて考えるように指示し、(2)の学 習活動までは全員が取り組めるようにする。 ・キーワードに関わる表現が見つけない生徒に は、キーワードを通してどの人物に着目して読 みたいのかを確認し、Rちゃんに関わる表現は 第1場面、紳士おじさんに関わる表現は第2場 面を中心に読むことを伝え、取り組めるよう にする。 ・4～5人の同じキーワードを選んだ生徒を教師 が伝え、グループを作って課題に取り組むよう 指示する。 ・象徴するものについては、そう考える根拠を文 章中から示し、聞き手が納得できる伝え方がで きるよう話す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(評) [読む能力] キーワードに関わる表現から、 人物どうしの関係や、キーワードが象徴し ているものを読み取り、作品のよさを捉え ている。(ワークシート記述内容、話し合 いの様子の観察)</p> <p>[努力を要する状況と判断した生徒への手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードが繰り返し出てくる理由を考え ることで、つながりや人を思う心が描かれ ていることに気付けるようにする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価し、学んだことや感想を書き入れるこ とで学習の振り返りができるようにする。 ・次時は、グループで話し合った内容を伝え合い、 複数のキーワードから作品を読み味わい、批評 することを伝え、学習への意欲がもてるよう にする。